



大 南

Contents

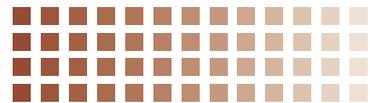
館長エッセイ 村松 茂美	1
特集: 図書館のいろんなコーナーを紹介します。	2~3
Data (利用統計)	4
news news	5
informations	6
図書館の現状—夜間・土日開館と地域開放— 津村 秀夫	7
staff column 廣松亜矢子	8
図書館日誌	8



村松 茂美
Muramatsu Shigemi

本学図書館の課題

—「救貧法コレクション」のデータベース化—



本学図書館はいまいくつかの課題に直面している。ひとつは情報メディアを駆使できる図書館としての態勢づくりという課題である。将来的には無線LANを配備し、図書館利用者が個人パソコンをもちこみ自由に使える情報学習環境を整備することが要請されている。また図書館内でおこる犯罪の防止も課題のひとつである。こういえば少々大げさであるが、携帯電話、財布の盗難は年に数回は発生しており、ごく最近では、女性用トイレののぞき見事件—犯人は特定できず—が発生した。「開かれた図書館」という基本方針を堅持しながら、なにができるか、現在対策を検討しているところである。外国雑誌の価格高騰問題も早急に検討しなければならないし、さらに図書館が所蔵する貴重書を有効に利用できるシステムを考えなければならない。

本学図書館はかなりの貴重書を所蔵している。めぼしいものを列挙すれば、「マルクス『資本論』の各国初版本」、16世紀から20世紀にわたるイギリスを中心とした「救貧法コレクション」、植民地時代のインドシナ研究文献集成「ブッティンガー文庫」、在野の評論家であり医師であった松田道雄氏の個人蔵書「松田道雄文庫」、江戸期商家の大福帳を集めた「坂本家文書」などである。このようなコレクションのほかにも、貴重な書物が所蔵されている。総計では6000冊に達する。これらは主に、図書館地下1階の狭い一室に保管されているが、利用という点では便利というわけではない。貴重書はたんに所蔵しているというだけでなく、大いに利用されてこそ意味がある。

そこで、本年度は「救貧法コレクション」について、

情報発信のシステムづくりに着手することとなった。このコレクションは、そのタイトルから救貧法という分野にとってのみ有用性をもつもののように思われるかもしれないが、歴史学、経済学、社会学などの広い分野にも有用性をもつものである。

とはいえ、それに付随する問題もある。情報発信のシステムが進めば、学外からの閲覧希望者の来館も予想される。倉庫のような地下の一室に保管したままでもいいのかどうか。「格式」ある図書館には貴重書読書室 (rare book reading room) なるものがある。本学図書館はこの点をどうするのか。また、「救貧法コレクション」をより意味あるものとするために、他の諸資料・図書といかに関連づけるか。本学図書館は、貴重なマイクロフィルムも所蔵している。たとえば、「ゴールドスミス、クレス両文庫」のマイクロフィルム全4313リールのうち1460年から1783年の1252リール、「カール・メンガー文庫」の一部などである。この「カール・メンガー文庫」の「社会科学/英語文献」には、「救貧法」に関連するものが少なくとも10点以上ある。さらに、今年度より、「19・20世紀英国下院議会文書 (House of Commons Parliamentary Papers)」も閲覧可能となった。これらとうまく関連づければ「救貧法」文献の一大拠点になることは明らかである。あとは、研究者の腕次第というわけである。



むらまつ しげみ

経済学部教授。2008年1月より図書館長。
[専門分野] イギリス社会思想史

図書館のいろんなコーナーを紹介します。

図書館の資料は、その種類や性質によってはまとめてコーナーを設けているものがあります。そこで、今回はみなさんに知っていてほしいお薦めのコーナーを4箇所ご紹介します。よく利用しておられる先生方と学生の皆さんにそれぞれのコーナーの魅力について教えていただきました。



文庫・新着コーナー(1階フロア)

「新書」や「文庫」と仲良しになろう!

経済学部 教授 原口 行雄

「新書」や「文庫」と仲良しになるためには、まずはそれぞれの役目を知ることである。「新書」はノンフィクションであり、その基本的役目は概ね「入門書」である。また、「ハウツー物」とも呼ばれて、数学、物理、様々な外国語、資格試験等の勉強の仕方やレポート・論文等の書き方を教示してくれる。

「文庫」にはフィクションとノンフィクションの2種類があり、詩、小説、劇、哲学、自然科学や社会科学を扱っている。「文庫」は廉価で、その狙いは多くの読者に読んでもらうことだ。読者は概ね大人を想定している。10代前後の若者対象のものは「少年・少女文庫」と呼ばれている。

皆さんは、目的に応じて「新書」と「文庫」とを読み分ければよい。興味のあるものを1年に20冊ほど読んで欲しい。「説明文」をわかり易く書けるようになりたければ、「新書」を数多く読み、生き方を追求するのであれば、「文庫」となる。



頭のサイズは世界のサイズ

大学院 国際文化研究科 津出 裕太郎

「ゼミについていけない、〇〇について知りたいけれど独学では不安…」そんなあなたには新書をオススメ。新書とは、その道のプロが入門者に易しく解説してくれた本で、内容も学術的なものから「マフィア(!?)」まで実に幅広い分野を網羅しています。「本より、スポーツ・映画・漫画のほうが…」そんなあなたにも新書は応えてくれます。あのスポーツの名場面やあの漫画のセリフが新書で読めて、より一層楽しめますよ。

そして忘れていけないのが文庫。古今東西の天才達の考えに触れる事ができるうれしい機会。「書名は聞いたことがあるけれど、ちょっとなあ…」そんなあなた、先ず一冊読んでみて。みんなが求める自分探して結局は自分築きだと思えます。知識を豊富にし、先人の考えを自分の頭で考えてみませんか。



郷土資料コーナー(3階フロア)

芋づる式に知識を広げよう

商学部 教授 幸田 亮一

熊本は豊かな自然と歴史に恵まれています。装飾古墳、阿蘇・天草、加藤清正、横井小楠、西南戦争など。それらを調べたいと思ったとき頼りになるのがここ。

頭の中の知識を広げるにはまず理論的枠組みを作って調べる方法と自分の脳が喜ぶ話から次々に調べていく方法があります。本コーナーは特に後者に最適です。

例えば、生誕200年で何かと名前が出てくる横井小楠。ここにはたくさんの関連本が並んでいます。まずは手軽な『横井小楠 維新の青写真を描いた男』を手にとりましょう。パラパラめくってみると、著者の徳永洋さんはなんと本学出身。グッと親しみが湧きますね。それを読み終えたら、たくさん並んでいる本のどれかがあなたを手招きしていることでしょう。

ネットからの手軽な情報は簡単に忘れますが、自分の手足を使って調べた知識はあなたの脳にしっかり定着しますよ。



知りたいことに近づける場所。

大学院 社会福祉研究科 永野 いつ香

現在、大学院に所属しており、水俣市茂道をフィールドとして、古老を対象に生活史の聞き取り調査を行っている。まずは、茂道の成立時期を特定しようと、図書館3階の郷土資料コーナーにしばらく通った。最初は手探り状態で、水俣市に関わりのありそうな資料を読み漁る日々が続いた。次第に、小字単位の地域である「茂道」に近づいていき、ついに『全国村名小字調査書』と出会った。

明治維新後、政府は日本地誌に関する調査を各府県に命じ全国的規模で実施し、『全国村名小字調査書』が作られた。この調査書に「肥後芦北袋村」の小字として、茂道・茂道が登場する。この資料から、明治初期には「茂道」が存在していたことを確認できた。

郷土資料コーナーには多数の歴史書がそろっており、はまるととても面白い。私にとっては宝の山のような場所である。



図書館のいろんなコーナーを紹介します。



英園 (English Reading Garden) コーナー (1階フロア)

English Reading Garden【英園】で、
永遠に英語を愛読しましょう。

外国語学部 教授 米岡 ジュリ

英語で本を読んだことがありますか？なかなか難しく想像すると気が遠くなりませんか？でも、熊本学園大学図書館1階のEnglish Reading Garden【英園】コーナーで気楽に英語読書を始めることができます。絵本に近いレベル0～1の本から、本格的な英語小説に近いレベル6まで、段階的に語彙の難しさが整理してある本が2,700冊以上並んでいます。各レベル400冊ぐらいあり、学生がよく利用するレベルは0～3ぐらいです。名作から短編、小説からエッセー、ノンフィクションなど、内容はバラエティに富んで、どの学生の興味にも対応できます。活字だけではなく、リスニング能力を伸ばすためのCDのついているものもあります。また、漫画系のEnglish comic books もたくさん発注中で、2009年度より仲間に加わります。

英語に対して永遠に愛着を持つことは、熊本学園大学図書館、English Reading Garden【英園】の利用から始まります。



英字に慣れて、読解力を上達させる
ためには

英米学科 3年 津志田 祐

英園コーナーの本は全て英語で書かれています。本はレベルごとに分けられており、レベルは0～6まであります。当然レベルが上がるごとに語数、語彙数が増えます。低レベルの「Penguin readers」と「Factfiles」の本は大抵読みやすいです。しかし、「Usborne young reading」の本は難しい単語が多いので上級者向けです。はじめは低レベルの本から読むことで英字に慣れるように心がけたほうが良いと思います。しかし、低レベルの本ばかり読んでいては力がつかないので、少しずつレベルを上げる必要があります。ある程度読解力が上達したら「Usborne young reading」を読むことを薦めます。個人的には、小説やフィクションよりも実話や歴史的出来事を理解するほうが良いと思っています。ただ英語を理解するためではなく、自分なりにいろいろと考えさせられます。



児童図書コーナー (1階フロア)

子ども心を取り戻し
ほっと一息つける場所です。

社会福祉学部 教授 宮里 六郎

絵本「オオカミと七ひきの子やぎ」(福音館書店)を手にとってみました。1ページ開くと、子やぎは普通のやぎなのにお母さんやぎは人間のように二本足で立ってエプロンまでしています。なぜでしょう。子どもの時は何の疑問も持たずに入り込んでいた世界、今は疑問に思ってしまうのです。失ってしまった子ども心、取り戻してみませんか？

図書館1階右手奥に、児童図書コーナーと並んで絵本コーナーがあります。皆さんが子どもの時に手にしたなじみのある絵本だけでなく、仕掛け絵本、諸外国の絵本、紙芝居もあります。肩の力が抜けて、ゆっくり、のんびり、ほっとできるスペースです。

絵本は絵の本、まずは文章を読まないで、絵だけ見ながらページをめくってみてください。字が読めない子どもと同じ視線になると子どもの世界が取り戻せるかもしれません。



絵本に触れてみよう！

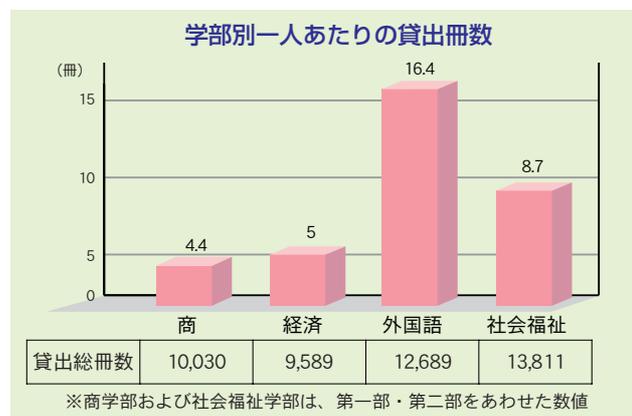
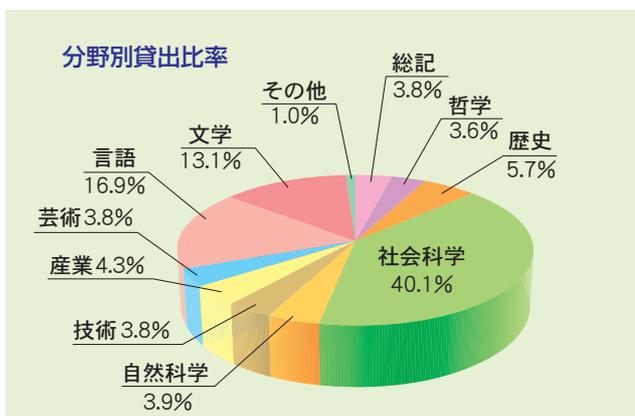
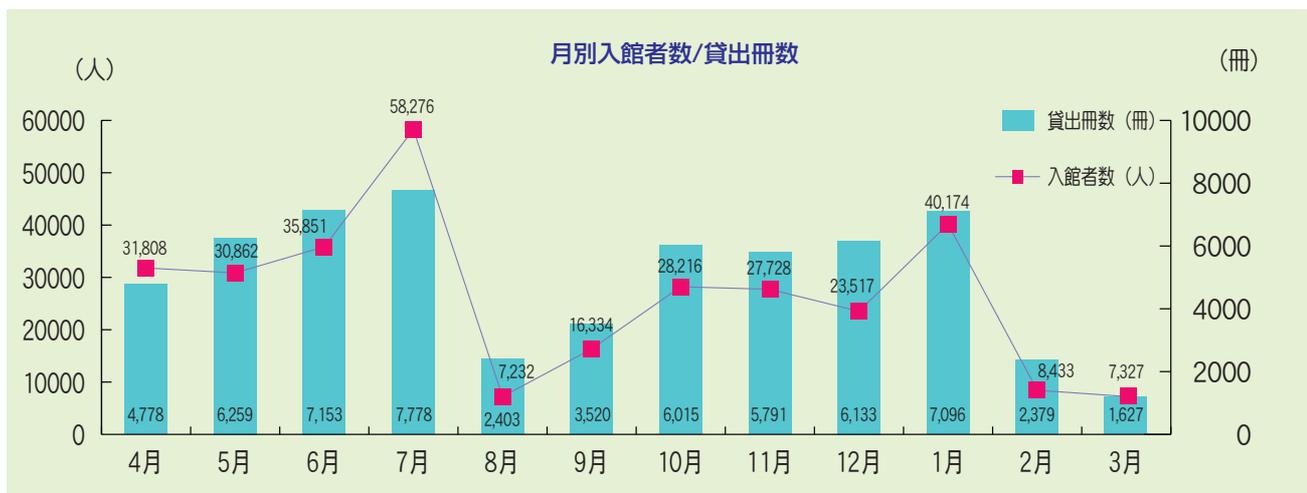
子ども家庭福祉学科 4年 満島 萌香

児童図書コーナーには、様々な本があります。私は実習で絵本の読み聞かせを行う際に、児童図書コーナーの絵本を参考にしました。コーナー内には紙芝居や大きな絵本もあり、実習の際に役立つのではないかと思います。また、色んな絵本をもっと知りたいと思い、普段からよく利用しています。その中で、幼い頃に親から読んでもらった絵本や、小学校の図書館にあった児童書を見つけると、とても懐かしい気持ちになります。さらに絵本の種類には、外国の絵本やしかけ絵本もあり、様々な楽しみ方が出来ます。

普段あまり本を読まない人にとっても、児童書は読みやすいと思います。ちょっとした空き時間に、昔読んでいた大好きな本を手にとって、過ごしてみることもお勧めです。私自身もこれから絵本に沢山触れ、もっと児童図書コーナーを利用したいと思います。

平成20年度 利用統計

平成20年度の入館者数・貸出冊数の統計は以下の通りです。
近年、自習用パソコンの利用を目的として来館する学生が増加していますが、図書館入館者総数・貸出総数はともに減少傾向にあります。あなたは、一年間に何冊の本を読みましたか？



(平成21年3月31日現在)

平成20年度学生懸賞論文 審査結果について



今年度の学生懸賞論文は夏季休業も終りに近づいたころから次第に応募者が増え、9月末日の締切時には12篇の応募がありました。その後、委員による厳正な審査を行い、4篇の入選、6篇の佳作が決定されました。

残念ながら、今回も特選の該当者はありませんでした。12月10日には図書館A Vホールで表彰式が行なわれ、受賞者には村松図書館長より賞状・賞金を手渡されました。また表彰式に引き続き、恒例の入選者スピーチも行われました。

今回の入選論文4編は「平成20年度学生懸賞論文集」として発行され、図書館内で配付されています。

《特選》 該当者なし

《入選》

村田 浩一 (商学科4年)

ワーキングプアの実態～時代のワリを食うのは、若い世代だ～

市川 富士 (経済学科3年)

ヒックスの非市場経済のモデルとしての封建制と日本の鎌倉時代の封建制の比較および商人の考察

石坂 晴香 (国際経済学科4年)

メキシコにおける地域間格差

花田 盛佳 (国際経済学科4年)

消費しない20代が日本を減ぼすか

《佳作》

坂口 佳代 他4名 (商学科4年)

孤軍奮闘するウィルコムー携帯・PHS市場での生き残り戦略ー

下田 保子 (商学科3年)

日本の公会計システムの現状と問題点

石 浩 (経営学科4年)

「日本的経営」の明日へ向けて：雇用・賃金制度の中日比較を通して

田中 佑宜 (英米学科3年)

“Roger Malvin’s Burial”ーReubenの罪の意識によって覚醒されたCyrusという恐怖の象徴

立尾 論世 (英米学科4年)

「グレート・ギャツビー」ー自我の具現ー

薛 蓓 (福祉環境学科4年)

On the Strategies and Skills of Translation ーFrom English to Chinese

新規サービス開始 ノートパソコン60台設置

図書館・東側と西側の読書カウンターと個人机にそれぞれ30台、計60台のノートパソコンが設置されました。資料として本を開きながら、文書作成を行なうことができます。パソコンを使わない場合は、従来どおりの閲覧席として使用できます。



■利用者…本学学部生、院生、科目等履修生、研究生、教職員

■時間帯…月曜日～土曜日 9:00～22:30

日曜日 10:00～16:30 (休業期間中は15:30まで)

■利用できるソフト…「Word」「Excel」「PowerPoint」「Access」

※インターネットには繋がっていません

《利用上の注意》

- ①作成した文書ファイル等は、各自のUSBメモリー等に保存してください。
- ②使用後は、必ずシャットダウンし、元の位置に揃えておいてください。
- ③このパソコンからの印刷はできません。
- ④動作不良が生じた場合は、カウンター係員までお知らせください。

※利用資格確認のため「学生証」等の呈示をお願いすることがあります。

「携帯電話使用室」を 設置！

平成21年1月から、図書館中央階段横の旧喫煙室を「携帯電話使用室」として、開放することになりました。これまで館内での携帯電話の使用を禁止していましたが、緊急な用件が生じた場合などに、「携帯電話使用室」での使用を認めます。

室内は完全防音ではありませんので、大声での通話は控えてください。また室内での喫煙ならびに飲食は厳禁です。



平成21年度 学生懸賞論文募集!

(募集要項は以下のとおり)

- テーマ：自由論題
- 応募資格：本学学生（大学院生、研究生、科目等履修生を除く）
- 応募期限：平成21年9月30日（水）16:00
- 提出先：図書館4階 事務室
- 審査方法：図書館委員会と図書館委員会の委嘱による専門教員の審査に基づき決定する。
- 懸賞金：特選＝賞状および賞金10万円
 入選＝賞状および賞金5万円
 佳作＝賞金2万円
 奨励賞＝図書カード5千円
※入賞者（特選・入選）の論文は「学生懸賞論文集」として発行する。
- 入賞発表：12月上旬（予定）に館内掲示ならびにホームページにて発表する。
- 表彰式：12月中旬（予定）。入賞者（特選・入選）による報告会を開催する。
- 応募上の注意
 - ① 応募は、一人1篇（共同執筆も可）とし、未発表の論文とする。
 - ② パソコンまたはワープロ（A4用紙）で作成し提出する

- こと。
- ※和文・中国文・韓国文:1行40字×40行・英文:1行70字×28行
 - ③ 応募論文は返却しない。
 - ④ 提出の際は、「平成21年度学生懸賞論文応募票」を添付すること。
 - 執筆要領
 - ① 論文には表紙をつけ、論題のみを記入すること。なお、表紙は枚数に含まない。
 - ② 和文：原稿用紙（400字詰め）8,000字～16,000字以内。英文：横書き・ダブルスペースで上記字数に該当する程度。
 中国文・韓国文の場合、上記字数に該当する程度。
 - ③ 和文以外の場合は和文で作成した内容の要約（400字～800字程度）を別紙にて提出すること。ただし、この要約は枚数に含まない。
 - ④ 著書や新聞等の文献から引用した場合は、出典（著者名・タイトル・発行所名・発行年月・ページ等）を、またホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記すること。
 - ⑤ 図表等は枚数に含む。それらを引用した場合は出所を明記すること。
- ※不明な点については、遠慮なくお問い合わせください。

図書館ガイダンスの案内

図書館では新入生を対象とした「図書館ガイダンス」、主に2年次以上を対象とした「ステップアップガイダンス」を実施しています。図書館を有効に活用して、充実した大学生活を送りましょう。

新入生	図書館ガイダンス	
	実施時期	4月中旬～5月中旬
	時間・場所 内 容	担当の先生から予告があります。 図書館サービスの紹介、館内ツアーなど
2年次以上 (1年次も含む)	ステップアップガイダンス	
	実施時期	5月下旬以降
	内 容 実施形態	雑誌記事・論文の探し方、新聞記事の探し方などデータベースを使った資料収集 授業科目ごとに実施（担当の先生から予告があります）
大学院	図書館ガイダンス	
	実施日	平成21年4月3日（金）
	時間・場所 内 容	午後2時～ 図書館地下AVホール データベースの紹介、書庫利用の説明など

一般利用の皆様へ

図書館のカード発行に関するお知らせ

※変更がありますので注意してください。

平成21年4月より、一般利用者のカードは「図書貸出カード」（図書を借りる際に使用）となり、カードでの入館はできなくなります。入館の際にはその都度「入館希望申込書」を記入していただきます。図書の貸出を希望される方は、右記の要領で「図書貸出カード」の発行手続きをお取りください。

なお、卒業生ならびに在学生の保護者の方には、これまでどおりの図書館カードを発行いたします。

	卒業生/保護者	一般
カードの種類	従来の図書館カード	図書貸出カード ※このカードで入館することはできません。
手続き期間	4月～翌年2月末	4月・5月・10月
手数料	なし	1,000円
受付時間	月曜日～土曜日 9:00～21:00	
必要書類	運転免許証・健康保険証など	
有効期限	平成22年3月30日	

※卒業生カードは更新ができます。更新手続きの際にはカードをご提示ください。

図書館の現状

夜間・土日開館と地域開放

はじめに

新図書館を開館して14年目を迎えました。標記のテーマは、施設の充実と制度化によって旧館時代より大きく前進し拡大の一途を辿っています。文科省の実態調査での全国的位置を確認しながら利用の実態についてレポートします。

開館時とその後の拡大

新館開館時（1995年度）は、平日：9:00～23:00（2階、3階は21:00まで）と日曜：10:00～16:00（1階のみ）という型でスタートしました。その後10年近く経た2004年度からは、平日：9:00～23:00（2階AVコーナーは22:00まで）と日曜：10:00～17:00で運用しています。1階から3階までのフルオープンとなり、日曜は1時間の時間延長となりました。実態調査との比較では上位にランクされています。この10年で他大学の時間外開館が倍増しており本学が突出していることではありません。【表1】（本学は青色の部分にあたります）

【表1】平成18年度『学術情報基盤実態調査結果報告』文部科学省（平成20年3月）時間外開館状況＜私立大学＞

	実施していない	2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計
平日	111館 19.9%	52館 9.3%	111館 19.9%	116館 20.8%	168館 30.1%	558館 100.0%
土曜	292館 52.3%	16館 2.9%	20館 3.6%	34館 6.1%	196館 35.1%	558館 100.0%
	実施していない	4時間未満	4時間以上 8時間未満	8時間以上 12時間未満	12時間以上	合計
休日	375館 67.2%	0館 0.0%	63館 11.3%	109館 19.5%	11館 2.0%	558館 100.0%

利用の実態

夜間開館の実態として、授業期間中の1月13日（火）と休業期間中の2月17日（火）とで一日の入館数を追ってみました。それぞれ2027人と388人でした。（うち、後述の一般利用カード所持者はそれぞれ90人と108人）【表2】【表3】18時までに1777人と297人が入館しており一日の8割の数となっています。その後2割の数が入館したことになります。在館者は22時時点でそれぞれ60人と30人くらい、23時の閉館時には両日とも20人くらいとなっています。日曜日は一日を通して入館者が100人台で200人を超える日が年に数日あるくらいです。この夜間・土日開館は地域開放とも密接な関係があります。夜遅くまであるいは土日に利用できるからです。先述のとおり閉館時の20人は学期中も休業中も変わらないことでその様子が伺われます。（一般利用のカードを作成して、5冊1週間まで貸出が出来る制度の利用は、一般・卒業生・保護者の区分で毎年合計1000人を数えます。）

【表2】時間帯別入館者数・授業期間中（2009年1月13日）※下段は一般入館者の内数

～10時	～12時	～14時	～16時	～18時	～19時	～20時	～21時	～22時	～23時	合計
94人	404人	511人	427人	341人	101人	69人	42人	31人	7人	2027人
(7人)	(3人)	(13人)	(7人)	(14人)	(13人)	(11人)	(13人)	(6人)	(3人)	(90人)

【表3】時間帯別入館者数・春期休業中（2009年2月17日）※下段は一般入館者の内数

～10時	～12時	～14時	～16時	～18時	～19時	～20時	～21時	～22時	～23時	合計
17人	62人	69人	83人	66人	31人	20人	21人	16人	3人	388人
(4人)	(12人)	(15人)	(14人)	(16人)	(16人)	(12人)	(10人)	(6人)	(3人)	(108人)

おわりに

夜間・土日開館は、利用者の多寡と運用形態。地域開放は、図書館の思惑である学術資料の提供という原則から離れたところもあること。平日の21時から23時と日曜一日の危機管理の問題。これらの従来からの問題と、蔵書検索やデータベースの利用など図書館に行かなくても出来ることが多くなった環境の変化。等々も考えていかなければならないでしょう。

（奉仕課長 津村 秀夫）

参考文献：筆者拙稿

- 1) 「熊本学園大学図書館の夜間・日曜開館について」『大学の図書館』15(10), 1996.10, p167-170
- 2) 「できることからやる図書館をめざして 一熊本学園大学図書館の夜間・日曜開館」『図書館雑誌』91(4), 1997.4, p250-251



Kumamoto Gakuen University Library bulletin

大楠 第44号 2009年4月25日

編集・発行／熊本学園大学付属図書館 〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL(096)364-5161 FAX(096)362-5967 <http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

